

Google for Education

はじめての Google for Education

Chromebook で実現する
1人1台 PC に対応した授業デザイン



Google for Education で、 新しい学びの形を

Contents

- P1 … Google for Education で、新しい学びの形を
- P3 … GIGA スクール構想の実現に向けて
- P5 … Chromebook
- P7 … 各部位の名称と機能
- P9 … ユーザーごと・端末ごとに利用範囲を安心・安全・最適に管理
Chrome Education Upgrade
- P13 … G Suite for Education があれば子どもたちの学びが変わる
- P15 … 先生と生徒の「新しいつながり」で
学習をサポートする「Google Classroom」
- P19 … 生徒が主体的に参加できる授業づくりを
サポートするアプリ
- P21 … Google ドライブを使いこなそう
- P22 … Google フォームを使いこなそう
- P23 … Google Meet を使いこなそう
- P24 … 先生の校務効率化をサポートする「AI」
- P25 … 「Kickstart Program」でサポート
すべての都道府県・市町村での体験型研修を提供
- P27 … よくあるご質問（Q&A）
- P29 … G Suite for Education お申し込み方法のご案内

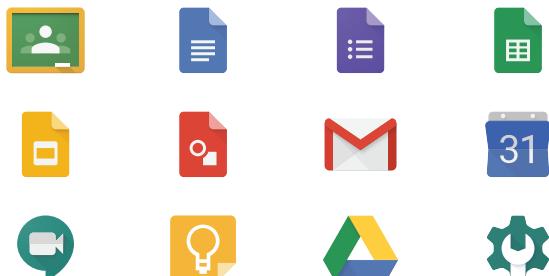
Google for Education は、Google の学校向けパッケージ。
1人1台環境の実現をサポートします。

chromebook 先生と生徒のための共有可能な端末



- 6社・14機種(2020年6月15日現在)
- Chrome Education Upgrade付
(Google純正MDMデバイスライセンス)
※新規デバイス購入時には再購入が必要となります。
- セキュリティソフトなどは不要

G Suite for Education 「新しい学び」と「働き方改革」を実現



- 教育機関は無償
- ストレージ容量無制限
- アカウント管理機能標準装備
- クラウドベースの教育プラットフォーム
- クラス管理・協働編集・コミュニケーション

Kickstart Program プロによる導入前後のサポート



- 導入前後の現地研修を無償提供
 - ①「1人1台」利活用促進のための研修パッケージ
 - ②「1人1台」を効率的に運用管理するための研修パッケージ
- オンライントレーニングを無料公開
- 認定教育者向けプログラム
- 地域のGoogle教育者グループを紹介

GIGA スクール構想の実現に向けて

"真" の世界標準の学びの環境を提案する Google for Education



GIGA スクール構想実施の目的

「子どもたち1人1人に個別最適化され、創造性を育める教育ICT環境の実現」を目指し、「児童生徒1人1台環境」を整備すること。同時に先生の校務の効率化を図ることでより子どもたちのために時間をかけられるようにすることを目的として実施されます。そのポイントとなるのは下記の3つです。

Point 1

端末

児童生徒1人1台環境

必要な機能を備えた安価な端末を全ての小中学生に配備し、鉛筆やノートと並ぶマストアイテムに

Point 2

通信ネットワーク

高速大容量ネットワーク

高速大容量の校内通信ネットワークの整備

Point 3

クラウド

クラウド活用

クラウド・バイ・デフォルトが原則

GIGA スクール構想 PC の標準仕様

GIGA スクール構想では今までとは全く違った新しい ICT 環境を目指しており、クラウド・バイ・デフォルトの原則に基づいた、十分な高速通信ネットワークと、端末側での処置に負荷がかかりにくいブラウザベースのソフトウェアや、クラウド上のデータ保存など、シンプルで壊れにくく、メンテナンスの容易なモデルが推奨されています。令和2年度補正予算では1台4.5万円を上限に定額補助（1台4.5万円を下回る場合は、実費分を補助）され、各端末メーカーからは4.5万円で購入できる教育向けの基本モデルが発売されています。

各 OS 共通で指定されている GIGA スクール構想の標準仕様



無線通信



キーボード
(Bluetooth接続でない)



タッチパネル対応



インカメラ
もしくは
アウトカメラ



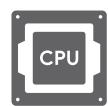
音声接続端子



バッテリー
8時間以上



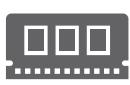
重量 1.5 kg 未満



CPU Intel Celeron
同等以上



ストレージ 32 GB



メモリ 4 GB



画面サイズ
9～14 インチ

GIGA スクール構想に対応した、Google Chrome OS の標準仕様

PC の標準仕様として発表された 3 OS の 1 つである Chromebook は、

教育向けに設計され、授業向けに作られた共有可能な端末です。

学校ごとのニーズに合ったモデルが見つけられるよう、Chromebook はサイズや形状も豊富にご用意しています。



【CPU】Intel Celeron 同等以上 【ストレージ】32 GB 【メモリ】4 GB 【画面】9～14 インチ



Chromebook は、学習活動のために設計され、
教室で利用するため作られた端末です。
直観的でシンプルな操作性は、生徒の学びを妨げることなく、
主体的な授業参加や深い学びにつながります。



すばやく起動

10 秒で起動し、セットアップはすぐに完了、
処理速度も低下しません。

常に高速

ほぼ全ての機能を Chrome ブラウザ上で使用するため、
余計なアプリがなくシンプルな設計で動作が常にスムーズです。

バッテリー長持ち

安心の長時間駆動^{※1}。充電器を持ち歩かなくても
さまざまな作業をこなせます。

最適な管理

端末ごと・ユーザーごとの制御が可能なので
万が一のトラブルに備えられます。

ウィルスにも安心

安全性を重視した設計。バック グラウンドで数週間ごとに
更新が行われ最新の保護機能が適用されます。

**Chromebook があれば、
授業が変わる、学びが変わる。**

※1 一般的な Chromebook のバッテリー駆動時間は、フル充電で平均 10 時間以上です。

各部位の名称と機能

Chromebook の名称とそれぞれの機能を覚えましょう。

！ 仕様はメーカー・製品によって異なります。

※画像のキーボードは US 仕様です。

1 USB 3.1 (Type-C / Gen1)

USB 3.0 と USB 3.1 の規格のコネクタを接続できます。

2 カードリーダー

microSDXC メモリーカード、microSDHC メモリー カード、microSD メモリーカードを読み取るのに使用 します。

※実際の機種により異なります。詳細は端末仕様をご確認ください。



3 Web カメラ

ビデオチャットや写真撮影に利用できるカメラを内蔵。

4 ディスプレイ

タッチパネルを搭載した液晶ディスプレイ。タッチパッド を使わなくても直感的に操作ができます。

※機種によってはタッチパネル非対応のものもあります。

5 USB 3.1 (Type-A)

USB 3.0 の Type-A 規格のコネクタを接続できます。

6マイクロホン / ヘッドホン・コンボジャック

スピーカーやイヤホン、ヘッドホンなどの接続が行 えます。

7 ボリューム ボタン

+/- のボタンがあり、音量を調整できます。

8 電源ボタン

長押しすると電源を切ったり、ロックしたりすることができます。

9 キーボード

暗い場所でも快適に入力できるようイルミネートキー ボードを採用しています。

10 タッチパッド

指を使って、クリックやポインタの移動といった操作が できます。



CHECK

- ディスクでしていたことをすべてクラウド上で

Chromebook では、アプリケーションやファイルなどはすべてクラウド上で管理されており、大容量のハードディスクは必要ありません。

ユーザー・端末ごとに利用範囲を安心・安全・最適に管理

Chrome Education Upgrade

(旧称: Chrome Education License / CMC)



Chrome Education Upgrade を使用すれば、管理者のみがアクセスできる管理コンソール(管理画面)から、同じドメインのすべての端末・ユーザーの設定を一元管理できます。

利用できるアプリやセキュリティの変更をログイン ユーザーごとに設定したり、端末単位で設定を柔軟に組み合わせることができますので、オンライン上で Chromebook を効率的かつ安全に運用していただけます。



端末管理

組織の端末として Chromebook を登録・一元管理できます。



ユーザー別の設定管理

ログイン ユーザーごとに利用可能 アプリやセキュリティの設定を管理することができます。

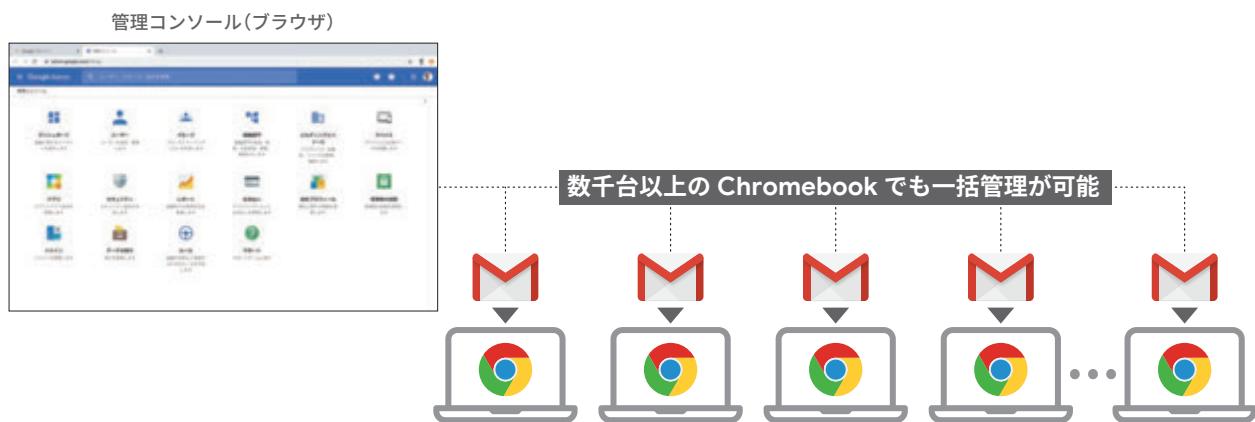


端末ごとの設定管理

ユーザー単位の設定とは別に、端末(管理組織)に対して設定を行うことができます。

管理画面でアプリも一括設定可能。 授業開始タイミングに、全員に同じアプリを設定することも容易です。

これまで複数の端末を管理、設定する際には、担当の先生が1台1台個別に設定作業を行っていました。しかし、Chromebookなら、直感的でシンプルな画面から数クリックで各種設定を完了させることができます。また、ユーザーごとに管理できるため同じデバイスを複数の生徒で共用することもスムーズです。



使い続ける中で発生する費用を、従来よりも大幅に削減。

Googleが提供する純正の端末管理ツール Chrome Education Upgrade をあわせて利用することで、運用中に発生するサポートのための時間も含めた総保有コストを大幅に削減することができます。

総保有コスト(TCO)の計算



他のパソコンや、タブレットと比較した、
3年間のTCO削減率

端末管理に要するスタッフの
対応時間削減率

52
削減された教師の
年間勤務時間

90%
サポート作業の
削減率

99.9%
稼働率

329%
ROI

¥0
ユーザーあたりの
コスト

出典：IDC Whitepaper

きめ細やかな制限機能で、教育に最適な環境を保持

Q: 1人1台支給すると、知らないうちに余計なアプリをダウンロードしたり、必要なアプリを消したりしたら困ります。

A: 利用可能なアプリを制限できますので、全員同じ環境を保持することができます。

同じ端末でもログインする人によって柔軟に利用環境を変えることができるので、学校関係者と生徒、生徒の中でも学年ごとに利用範囲を変えるなど様々な設定が可能です。例えば、生徒が端末を忘れてきた場合、先生の端末を貸し出したとしても、生徒は自分のアカウントでログインすれば自分用の環境で利用できます。



Chrome OS の自動更新で常に安定した動作環境

Q: OS のバージョンが更新されず、使っていたアプリが動かなくなることはありませんか？

A: Chrome OS 更新プログラムでは約8年間自動で更新されます。

OS更新は、自動・手動を選択可能です。また、更新は1分程度で適用が完了し、再起動のみで完了するため、授業がストップしてしまうといったこともありません。

また、Chrome OSは、常に2つのバージョンのOSが動いており、どちらかに問題が発生した場合はもう一方に自動で切り替わる設定になっています。



端末ごとの設定が可能

Q: 大勢の人が利用する端末では、データ容量を圧迫しないようにユーザー個別のデータを削除するのが大変なのでは?

A: 共用端末の利用目的を限定したり、ログアウトするたびにデータを削除するように設定できます。

共有して利用する端末では、ログアウト時に端末に残されたユーザー個別の情報を自動的に消去するように設定することも可能です。端末ごとに設定を変更できるため、各端末の利用方法に応じたポリシーを設定できます。



トラブルにも安心の対応

Q: 端末を紛失してしまった時の情報漏洩が心配です。

A: 端末にデータを保存しないので、ログインできない限り情報漏洩の心配はありません。

また、管理者は遠隔操作によって端末をロックすることもでき、万が一の不正アクセスを防げます。

Chromebook をどこかに置き忘れてしまったり、なくしてしまったり…といったトラブルがおきた場合には、一時的にログインできないように管理コンソールから設定することができます。インターネットに接続ができるれば、管理者はどこからでも管理コンソールにログインすることができるので、即時対応が可能です。

Q: ウィルスなどの対策はどうすればいいですか?

A: Chromebook では OS アップデートが自動的に行われるため、常に最新で最も安全なバージョンが動作するようになっています。

手間のかかるウィルス対策は一切不要です。ウィルス対策機能を含む、安全で最新の Google Chrome OS へのアップデートは自動的に無料で行われます。



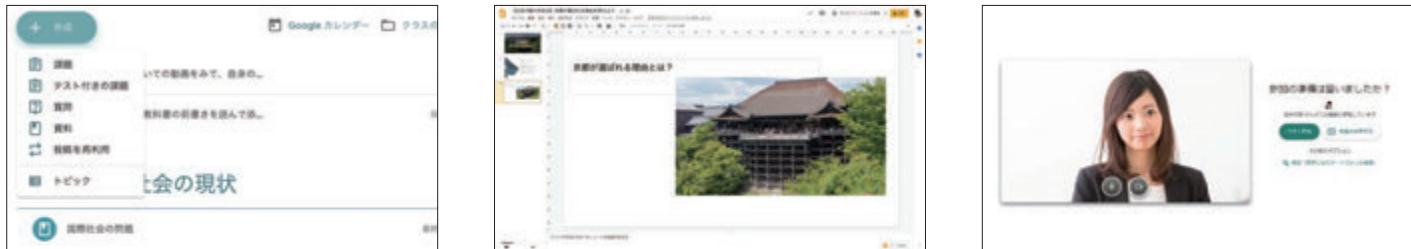
G Suite for Education™ があれば 子どもたちの学びが変わる

「アイデアの共有」「資料の協働編集」「海外の学校との交流」など、
生徒の主体性を引き出すための活用方法は盛りだくさん。G Suite for Education で学校が、授業が変わります。

すべてクラウド上で運用、
シンプルに利用・管理ができるオンライン教育システム

G Suite for Education

G Suite for Education は、先生と生徒の双方向のコミュニケーションを実現する学習管理アプリである Google Classroom と、
主体的な授業づくりや校務効率化に役立つ様々なアプリで構成されています。
1人1人に設定される ID・パスワードでログインすると全てのアプリにアクセスできます。



Google Classroom

先生と生徒の「新いつながり」で学習をサポート

■ Google が提案する、授業プラットフォーム Google Classroom

これまで紙で行っていた、課題やテストの配布・回収・結果の管理をオンラインで行うことができます。生徒の反応や課題提出をもとにした個別指導やフォローをすることができます。授業では、議論の題材となる資料の即時共有も可能なので、活発な授業運営に役立ちます。

主体的な授業を作り、先生の校務を効率化する

G Suite for Education のコアサービス

■ 先生の校務・ICT 管理を効率化するアプリ

部活、授業、会議、面談といった先生のスケジュール管理や、先生同士のやり取りなど、学校での校務そのものを効率化できるアプリです。



Gmail

容量無制限・高機能・スマートなオンラインメールアプリ



Google カレンダー

スケジュール管理だけでなくあらゆる時間管理が可能なアプリ



Google Keep

様々なメモや画像をいつでも保存でき、必要な人に共有できるアプリ

■ 生徒の主体性を引き出すインタラクティブなアプリ

生徒が主体となって授業で活用することで、より深い学びの実現につなげられるアプリです。



Google ドキュメント

メモから本格的なレポートまで作成できる文書作成アプリ



Google フォーム

簡単に質問フォームやテストを作成し即集計・採点できるアプリ



Google スプレッドシート

表作成から高度な関数を利用した集計まで可能な表計算アプリ



Google スライド

生徒の発表を支援するプレゼンテーションアプリ



Google ドライブ

生徒の学習データを無制限に保存できるデータ保管アプリ



Google 図形描画

自由に図形を組み合わせて作成できる图形作成し文書挿入できるアプリ



Google Meet

離れた場所にいる先生・生徒同士をつなぐビデオ通話アプリ



Google Chat

学習内容の質問など、先生と即座にコミュニケーションが取れるアプリ

1

先生と生徒の「新しいつながり」で 学習をサポートする「Google Classroom」



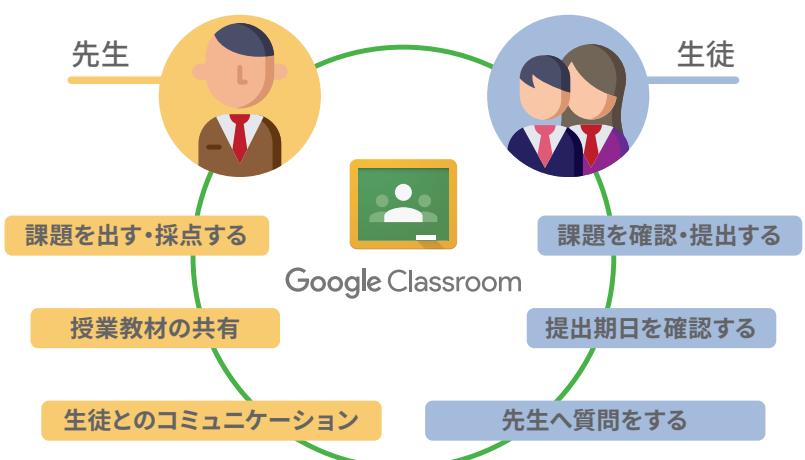
オンライン上で先生と生徒が
コミュニケーションを取れる
学習管理アプリ

先生・生徒・クラスをつなげる
オンラインでの学びの場です。

- ・課題の作成・周知
- ・個別のフォローアップ
- ・課題の回収・採点・返却

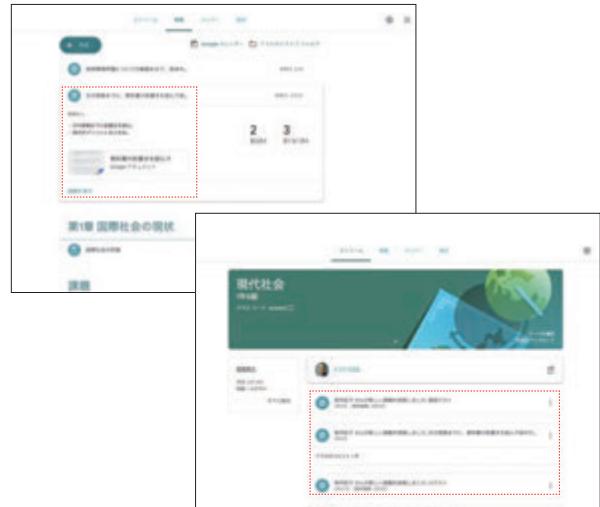
など、これまで多くの時間と
手間を取っていた
学習管理を効率的に、
ペーパーレスで行うことができます。

| Google Classroom できること |



課題の提出～採点～返却の サイクルもスムーズに

課題を「Google Classroom」を介して生徒に配布し、提出期限のリマインドもできます。また、課題回収・採点も「Google Classroom」内で行えるため、従来のような大量の紙の印刷や管理に手間を取られることはありません。



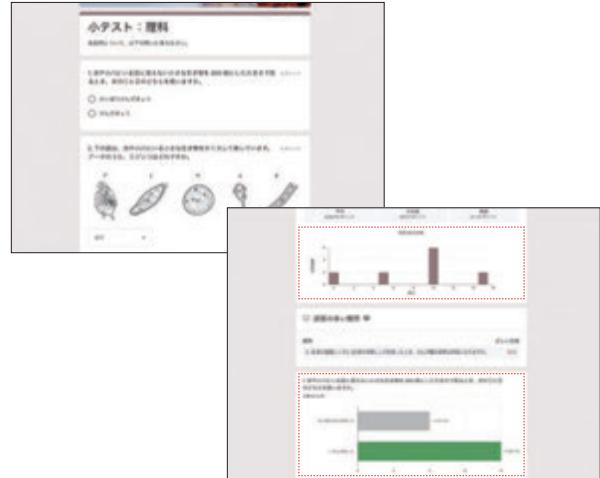
生徒同士の議論の材料として動画や 関連記事の提供、共有もリアルタイムで実現

生徒主体のアクティブラーニングの中で議論が行き詰まっていたらヒントとなる動画や関連記事を「Google Classroom」に投稿すれば、即時共有することができます。また、生徒同士で作成途中の発表資料を共有し、学び合いを促すこともスムーズです。



小テストや振り返りシートで 学習成果を確認 フォローアップは個別対応可能

授業の最後に確認テストや振り返りシートの記入を実施し、すばやい理解度確認を行うことができ、必要に応じて個別にフォローアップのための教材や課題を配信することも可能です。





「Google Classroom」を使いこなそう

■クラスの作成

- ・クラスは「英語 3-1」など任意のクラスで設定。
担任しているクラス用に「ホームルーム」や
「部活」などを作成しておくことも。
- ・生徒や副担任の先生などを
クラスにメールで招待するか、「クラスコード」を表示して招待。
- ・[メンバー] のページに参加した生徒名が表示。

The screenshot shows the 'Classroom' interface. On the left, a sidebar lists 'クラスを作成' (Create Class), 'セクション' (Section), '科目' (Subject), and '範囲' (Scope). In the center, a card for '現代社会' (Modern Society) shows '1年生' (Year 1) and '生徒3人' (3 students). A 'クラスを作成' button is visible. On the right, a '生徒' (Students) list shows five students: 横田実咲 (Yokota Misa), 真理奈美 (Marinami), 大木優 (Oki Yuki), 田中まひる (Tanaka Mahiru), and 木下実咲 (Kobayashi Misa).

■課題の作成と配布

- ・作成したクラスの【授業】ページからクラスへ投稿。
動画や URL などの関連資料の配布や質問の投げかけも。
- ・課題の提出期限を指定すれば Google カレンダーに自動表示。
事前のアラームで提出忘れを防ぎます。

The screenshot shows the 'Meetings' tab of a classroom. On the left, a sidebar has a red box around the '添付' (Attachment) button. The main area shows an assignment titled '会の現状' (Current situation) with a video thumbnail and a due date of '2020/03/06'. To the right, a 'Google カレンダー' (Google Calendar) window is open, showing a calendar for March 2020 with a red circle on the 6th.

■課題の回収・採点

- ・[生徒の提出物] から提出された課題を確認。
- ・画面上で採点し、フィードバックのコメントを
つけることもできます。
コメントは他の生徒からは見えません。
- ・[返却] ボタンから生徒へ返却。
複数の生徒へ一括返却することも可能です。

The screenshot shows the 'Assignments' tab for the '現代社会' class. It displays a list of assignments for students: 横田実咲 (Yokota Misa), 真理奈美 (Marinami), 大木優 (Oki Yuki), 田中まひる (Tanaka Mahiru), and 木下実咲 (Kobayashi Misa). Each student's assignment has a grade and a feedback comment. A red box highlights the feedback comment for Oki Yuki: 'この考査はとても大切だと思います。ぜひ、授業ディスカッションしてみましょう。' (This exam is very important. Please participate in the class discussion.)

「Google Classroom」の授業活用事例

【事例1】高頻度で細かな学習フォローを実現

「Google Classroom」で課題を出し、意見を求めるとき、教室での発言が苦手な生徒もオンライン上では積極的に意見を述べたり、反対意見も言いやすかったりと議論が活性化するように。

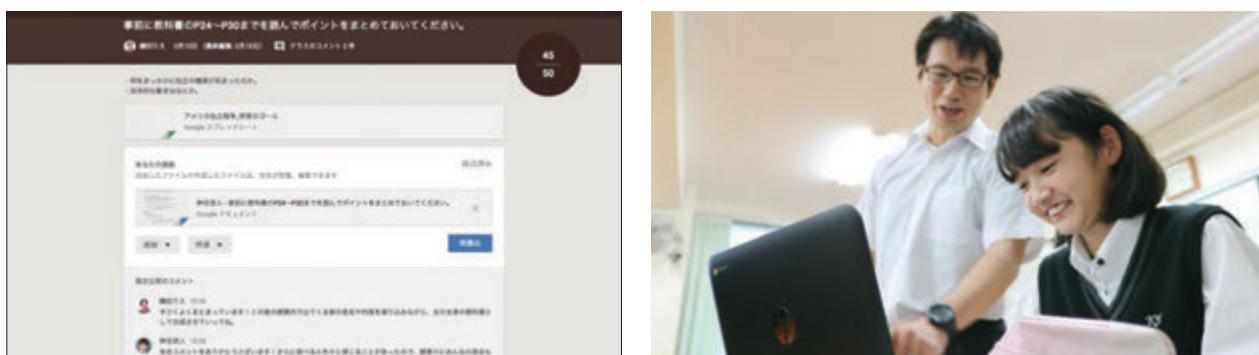
また、課題に対して「コメント」機能でフィードバックし、それを本人にだけ表示するか全員に表示するかも選べ、問題提起やより深く考える視点を提供しやすく、高頻度なやりとりが可能になったというお声をいただきます。



【事例2】生徒の学習記録をポートフォリオ化

大学入試改革で、一般入試でも求められるようになる調査書の提出。学習の記録をポートフォリオ化することが求められます。

すべての学習記録はクラウドに全て無期限・自動保存されるため、さかのぼってどのように成長していったのか確認したり、先生間の引き継ぎ、連携にも活用されているケースも。



2

生徒が主体的に参加できる授業づくりを サポートするアプリ



グループワークで大活躍

アプリで作成したデータは、複数人での同時編集が可能。

調べ学習の後、グループごとに発表資料をまとめるのもスムーズです。



CHECK

誰が編集したか一目瞭然

世界の気候区分			
資料を読んで、この單元の概要を1枚にまとめてみましょう。			
気候帯	気候区分	北な都市	特色
熱帯	熱帯雨林気候	シンガポール	・1年中気温が高い ・降水量が多い
サバナ気候	バンコク		・1年中気温が高い ・雨季と乾季がある
乾燥帯	ステップ気候	ワランバート	・乾季と雨季の差異が大きい

資料をグループで編集作業しても、
誰がどこを修正したかがわかるように
マーキングされます。

意見をまとめる・資料を作る、授業で役立つアプリ

Google ドキュメント等で作成したデータは複数人での同時編集が可能です。

授業中の意見交換や、調べ学習の後でグループごとに発表資料をまとめるのもスムーズです。



Google ドキュメント

メモから本格的なレポートまで
作成できる文書作成アプリ



資料を共有し、意見を書き込んで
黒板の代わりに



「音声入力」機能を使用すれば、
即時テキスト表示が可能



Google スプレッドシート

表作成から高度な関数を利用した
集計まで可能な表計算アプリ



クラスメイトから集めた意見を
一覧にして確認



集めた意見を分析して、
発表資料に利用



Google スライド

生徒の発表を支援する
プレゼンテーションアプリ



スライドを作成



先生やグループのメンバーと
共有して意見交換



スライドを使って発表

アプリで Office ファイルの直接編集が可能

Office ファイル形式のデータをそのまま編集・共有が可能です。

フォーマットを崩す心配もなく、既存の資産をそのまま使うことが出来ます



Office ファイルを Google ドライブにアップロードして開き
[Google ドキュメントで開く] を選択。



Office ファイル形式を保ったまま Google ドキュメントで開か
れる。変更内容は元の Office ファイルの形式で自動保存。



Google ドライブを使いこなそう

Google for Education では、共有ドライブを利用して学年・クラス・教科など、使いやすい方法で設定可能です。ドキュメント・スプレッドシート・スライドなどの同時編集機能を使えば、ドライブ上で生徒の課題も進捗確認をしながら、コメント機能でアドバイスやフィードバックを残すことが可能です。

The screenshot shows the Google Drive interface. On the left, there's a sidebar with navigation options like 'ドライブ' (Drive), '共有ドライブ' (Shared Drive), and '共有ドライブ' (Shared Drive). The main area displays several shared drives: '一学年担任グループ' (Year Group Leader Group), '学園内共有' (Institutional Shared), '研究会' (Research Group), '地元団体' (Local Organization), '社員用' (Employee Use), and '部活' (Sports Club). A callout box points from the '研究会' icon to a detailed sharing settings dialog box. This dialog box contains sections for '教材教科書の権限をよんで' (Sharing permissions for teaching materials) and 'エクセルデータの権限について' (Sharing permissions for Excel data). It also includes a message from a user named '吉田和也' (Yoshida Kazuya) and a note about 'オフライン' (Offline) access.

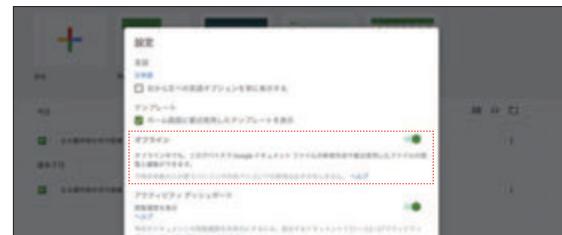
POINT 1

アプリごとに設定を変更することで、オフラインでも利用可能

ネットワークに接続していない状態でも、ファイルの表示・編集ができるように設定ができます。
ファイルごとの設定も可能です。



左上のメニュー ボタンをクリックします。

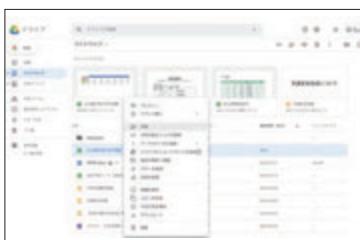


設定メニューから [オフライン] を選択します。

POINT 2

アップロードすれば範囲を指定しての共有が可能

Google ドライブにアップロードしたファイルは、相手を指定して共有することができます。
相手によって編集権限を個別に設定することも可能です。



ファイルを右クリックし、[共有] を選択します。



共有する相手と共有権限を設定し、[完了] ボタンを押すと共有完了です。



共有したファイルを右クリックし、[共有] を選択すると、共有相手ごとに権限を設定できます。



Google フォームを使いこなそう

Google フォームを使えば、授業中に生徒たちの意見をリアルタイムに集約・集計・可視化できます。簡単な操作で作成でき、テストの作成・配布・回収・採点・再配布などがすべて Google フォーム上で簡単にを行うことができます。



POINT 1

リアルタイムで意見を集約できる

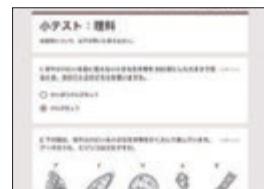
全体の意見をその場で集め、共有し、それを素材に議論をする、という活動が可能です。



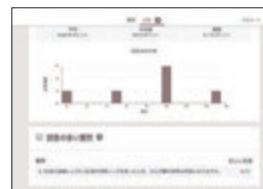
アンケートやミニテストなど、質問フォームを簡単に作成することができます。



作成したフォームは、画面上ですぐに配信できます。



共有されたフォームにそれぞれの端末からアクセスし、回答を入力します。



回答は画面上でリアルタイムに集計し表示。その場で共有することで思考を深めることができます。

POINT 2

テストの実施・採点が手軽になる機能、「テスト オプション」と「自動採点」

「テスト オプション」



生徒が Chromebook を利用している場合に使用できる、フォームの便利な機能で、テスト中の Web 使用制限も可能です。

「自動採点」



事前に正答を設定しておくことで、記述式の問題も自動採点可能です。生徒が回答を終えると、すぐに結果を確認できます。



Google Meet を使いこなそう

Google Meet は離れた場所にいる相手と会話することができる、シンプルで高品質なビデオ通話システムです。このアプリを使って先生と生徒で双方向型のオンライン授業を実施したり、遠く離れた国内・海外の学校の生徒と交流することができます。



POINT 1

生徒との遠隔授業を簡単に始められます

Classroom 上にある Google Meet リンクから、スムーズにビデオ通話を活用した遠隔授業を開始することができます。



POINT 2

外部講師による特別授業や国際交流にも活用

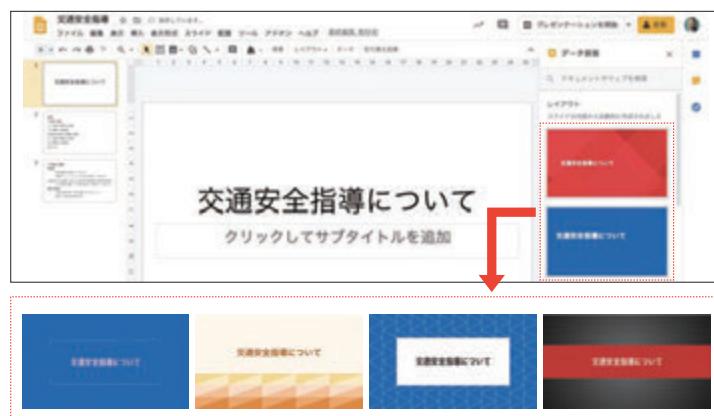
海外校との国際交流や、外部講師による特別講演など、ビデオ通話を活用することで「学びの機会や幅」を広げることができます。



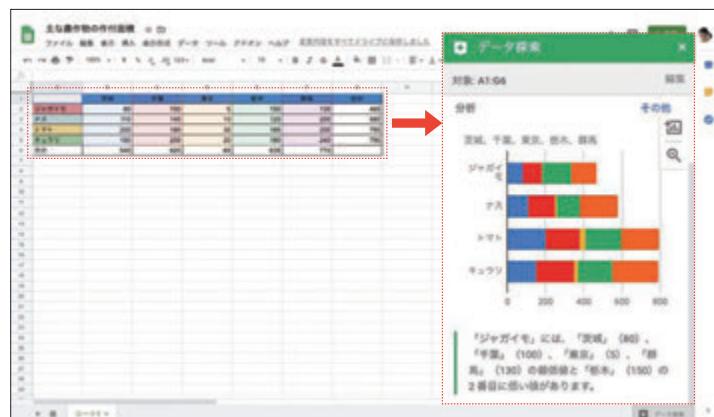
先生の校務効率化をサポートする「AI」

資料作成はなるべく短時間で行いたいもの。

AI がパターンで提案するデザイン・レイアウトなどを使えば、資料作成という校務にかける時間を短縮できます。



入力されている内容を元に、適切なレイアウトの種類を表示します。



入力されている内容を元に、適切なレイアウトの種類を表示します。

The screenshot shows three versions of a communication resource titled '学級通信' (Class Communication) for different languages: Japanese (日本語), English (英語), and Chinese (中国語). Each version is generated by Google AI based on the original Japanese template. A large red arrow points from the Japanese version to the English version.

Google ドキュメントの自動翻訳機能を利用すると、作成した資料を即座に多言語資料へと変換することができます。多言語での告知が必要なお知らせの作成などを効率化できます。

「Kickstart Program」でサポート すべての都道府県・ 市町村での体験型研修を提供

スムーズに教育現場で Chromebook を活用していただくための支援は充実しています。利用目的や役割に応じて、多種多様な研修メニューとフォローアップ体制を用意しています。



1人1台の学習者用端末として Chromebook を調達するすべての都道府県 / 市町村での研修を無償で提供いたします。研修は、管理者向け・教員向けのものがあります。

- ・研修は実機を用いた体験方式です。
- ・研修は40人単位。回数は導入学校数に応じて、最低1回から複数回提供します。

管理者向け研修メニューの例

- ・組織・ユーザーの種類と作成方法
- ・端末管理・ユーザー管理の方法
- ・利用状況の把握方法
- ・運用に役立つ各種機能
- ・組織の設計・設定、グループの作成、権限(サポート、パスワード)の付与

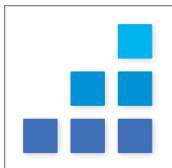
教員向け研修メニューの例

- ・G Suite for Education の各種機能紹介
- ・Google Classroom を用いた生徒への課題や資料の配布方法
- ・回答結果の回答分析を自動化したアンケートの運用方法
- ・業務や授業における活用の紹介

Google for Education の導入サポート

初めての ICT 導入も、Kickstart Program をはじめ、様々なサポート体制があります。

オンライン トレーニング



教員向けに、授業に役立つ無料のオンライン トレーニングを用意しています。

Teacher Center では Google for Education ツールの初めての利用から上級者向けまで、目的とレベルに合わせてコースを選択できます。

16 言語 800,000 人が登録済み

トレーナーとのネットワーク



個人トレーナーや専門能力開発プログラムを提供する認定パートナーのサポートを、必要に応じて受けることができます。

Google for Education のソリューション、導入サポート、IT サポートなどを提供しています。

15 カ国以上 / 85 パートナー

90 カ国以上 / 4,000 人以上のトレーナー

教育者の認定



教育者が Google ツールを効果的に活用できるようにするために、教育者向け認定教育者資格コースを提供しています。

また、こうした教育者のトレーニングや研修をサポートするための認定プログラムも用意しています。

130 カ国 175,000 人の認定

Google 教育者グループ (GEG)



テクノロジーの活用で充実した教育を実現するために教育者同士が学びあえる場が設けられています。

「学ぶ、共有する、影響し合う、能力を高める」の、4 つが GEG のキーワード。

日本各地の、教育者による教育者のためのコミュニティが立ち上がっており、誰でも参加できます。

※各グループは地域のボランティア (GEG リーダー) によって管理され、企業としての Google からは完全に独立しています。

25 カ国以上 355 グループが活動中

よくあるご質問 Q&A

Q. Chromebook のデータはどこに保存されるのですか？

ファイルデータだけでなく、メールやカレンダーなど全てのデータをクラウドストレージで安全に運用できます。
また端末が許す容量の範囲で、ローカルに保存することも可能です。

Q. クラウドにデータを保管することに抵抗があります。本当に安全なのでしょうか。

Chromebook で作成したデータは Google ドライブに自動保存されます。
クラウド上にすべてのデータを保管することになるのですが、Google のデータセンターは暗号化だけではなく世界中の様々な場所にバラバラに保存され、物理的に盗むことがほぼ不可能と言われています。そして、昔から現在まで情報流出で一番多いケースは、人間のミスが引き起こすものと言われています。そういう部分の心配もする必要がなくなり、おのずと高セキュリティが実現します。

Q. 小学校低学年の子供には Chromebook は難しいでしょうか？

多くの Chromebook では、タッチパッドが搭載されており、まだキーボードをうまく使えない子供でもタッチ入力や音声入力を使うことで簡単に Chromebook を使うことが可能です。
一部の Chromebook はタブレットモードとしても利用でき、テキスト手書き入力や音声入力にも対応しているため、より直感的に操作することができます。

Q. OS の更新などで、授業開始がストップすることはありますか？

Chromebook ではインターネット接続と同時にバックグラウンドで OS が更新されるため、授業を妨げることはありません。

Q. Google の教育向けソリューションは、

文部科学省の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準拠していますか？

はい。G Suite for Education が提供する Gmail、Google カレンダー、Google Classroom、Google ドライブ、Google ドキュメント、Google スプレッドシート、Google スライド、Google Chat、Google Vault や Google Chrome Sync といったコアサービスは文部科学省の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準拠しています。

Q. G Suite for Education 利用規約の準拠法と管轄裁判所について教えてください。

日本における契約書の準拠法は日本法、管轄裁判所は東京地方裁判所です。

Q. Google のお客様データの利用目的はどの程度制限されていますか？

Google が取り扱う児童生徒の個人情報は、教育機関、教師、または保護者・児童生徒によって承認された目的に限ります。

Q. Google は個人情報をお客様に対する広告活動等に無断で使用しませんか？

Google は、G Suite for Education のコアサービスにおいて広告の配信はいたしません。

また、コアサービスで収集されたお客様データは、コアサービスと追加サービスのどちらにおいても、広告目的で使用されることはありません。

Q. G Suite for Education のお客様データを、第三者へ提供していませんか？

Google が、第三者へ G Suite for Education のお客様データを共有することは原則としてありません。

契約時に同意をいただいたうえで、下記の 4 つの場合のみ例外として第三者にお客様データを共有することができます。

- ・お客様の同意を得た場合
- ・G Suite for Education のお客様の管理者と共有する場合（管理者は G Suite for Education の契約者が指定します）
- ・Google が業務委託等の外部処理を目的とする場合（外部処理は、Google の指導のもと、G Suite for Education プライバシー ポリシーに則り、かつ適切な機密性保持および強固なセキュリティ対策に基づいて実施しています。）
- ・法的な理由がある場合

Q. Google のお客様のデータに関するセキュリティは万全ですか？

Google のセキュリティ システムは、業界の中でトップレベルの安全性を誇り、G Suite for Education のお客様のデータへの脅威から当該データを保護することに尽力しています。

Q. 独立した第三者機関が定める、セキュリティやクラウドサービスに関する国際規格は取得していますか？

はい。ISO 27001、ISO 27017、ISO 27018、SOC 2、SOC 3 等、第三者独立機関による監査を受け、国際標準規格を複数取得しています。

Q. クラウドサービスを利用するには、国内にデータセンターがあるソリューションを選定する必要があると聞きました。G Suite for Education は国内にデータセンターを持っていますか？

Google は自然災害や局地的な事象（停電等）のリスクを軽減するために、データセンターをグローバルなネットワーク上で運営・管理しています。文部科学省が定める「情報教育セキュリティ ポリシーに関するガイドライン」には、「国内にデータセンターがあるソリューションを利用すること」とは書かれておりません。

Q. 過去の契約書（参考和訳）に、「保護者の同意が必要」という記述がありました。

すべての児童生徒の保護者に同意をとる必要がありますか。

Google は、G Suite for Education の利用にあたっては、保護者同意を求めておりません。最新の契約書の参考和訳をご覧ください。日本では、公立の場合は教育委員会（自治体）、私立は学校がエンドユーザーであり、教育委員会や学校が生徒に代わって利用規約に同意します。また、保護者に同意を求めるか否かは、自治体や私立学校のセキュリティ ポリシーに準じます。自治体のポリシー（条例等を含む）で「G Suite のようなクラウド ソリューションを利用する場合は保護者同意が必要」と定めている場合は、学校が保護者同意をとる必要がありますが、あくまで自治体のルールであり、我々事業者がユーザーに求める要件ではありません。

G Suite for Education お申し込み方法のご案内

これから G Suite for Education をお申込みされる教育機関のためのガイドとなります。
ご登録に際して、各ステップをご参照ください。

1

G Suite 使ってみましょう

学生と教員の交流方法が変わります。G Suite for Education は対象となる教育機関の方々に無料でご利用いただけます。

教育機関用のアカウントを作成する手順をご案内します。

次へ

[G Suite for Education \(https://goo.gl/xrvzJ9\)](https://goo.gl/xrvzJ9) にアクセス



2

貴校・貴所に関する情報

教育委員会名もしくは学校名の入力

- 貴校・貴所で提供している教育の種類を選択

□ 教育委員会
□ 教育委員会

次へ

3

貴校・貴所の詳細

ウェブサイトの入力

- xxx.schoolname.comなどのURLを記入
- 生徒と教職員の数を選択

4

貴校・貴所の所在地と電話番号を入力

国と電話番号の入力

- 貴校の所在地(国)と電話番号の入力

国: 日本

電話番号: 03-1234-5678

次へ

5

組織の住所を入力

住所の入力

- 貴校の郵便番号、都道府県、所在地詳細の入力

6

ご連絡先をお知らせください。

メールアドレスを入力

- 受信できるメールアドレスを入力

受信できるメールアドレス

次へ

7

貴校のドメイン所有に関する情報

ドメイン所有情報

- [使用できるドメインがある]
既にドメインをご準備されているドメインで G Suite for Education をご利用する場合
- [ドメインを購入]
新規でドメインを購入し、購入したドメインで G Suite for Education をご利用する場合

8

ドメイン名を入力

- 既にお持ちのドメインを入力

9

ドメイン名を確認

- 使用するドメイン名を確認

10

ログイン情報を入力

- 管理者のメールアドレスを作成

11

フィードバック

- Googleより様々なお知らせなどの受け取りにご協力いただける場合は [OK] をクリック

12

G Suite for Education に関する学校同意書

- 内容をご確認の上、[同意して続行]をクリック

13

G Suite for Education 申し込み完了

- 申し込みに関する入力の完了

ドメイン所有権の確認 (* 申請後の設定作業)

G Suite のご利用にあたり、ドメインの所有権確認をお願いしています。ドメインとは、ビジネスに関連した名前のついたオンライン上のアドレスです（例：[会社名].com）。ドメインの所有権を確認することで、そのドメインがオンラインサービスで不正使用されたり、メールが貴社からのものであるかのように偽装送信されたりするのを防ぐことができます。

注 : G Suite のお申し込みにあわせてドメインをご購入いただいた場合、所有権の確認手続きは不要です。

所有権確認の概要

G Suite の設定の際、ウィザード画面に、ドメインの設定に使う一意の確認レコードが表示されます。ドメインホストにログインし、このレコードを追加してください。ご利用のホストがわからない場合は、ドメインホストを特定する手順をご覧ください。

レコードの追加が Google で確認されると、ドメインの所有権確認のお手続きは完了です。

所有権確認を開始する

ドメインの所有権確認には、TXT レコードのご利用をおおすすめします。

なお、ドメインホストによって、TXT レコードの編集が許可されていない場合があります。その際は、次のいずれかの方法をお試しください。

- CNAME レコードを追加する
- MX レコードを使って確認する
- ウェブサイト経由で確認する

サポートを得る

ドメインホストへのログインや確認レコードの追加に関して問題が発生する場合は、ドメインホストのサポートチームにお問い合わせください。

その他のご質問については、G Suite サポートチームにお問い合わせください。お問い合わせは 24 時間年中無休で受け付けております。

G Suite for Education へのアップグレード完了

Google for Education



chromebook

利用台数 4,000 万台以上。
学習のためのパソコンで ICT 教育を支える。

簡単

校務や授業準備にかかる
時間を約 59 % 削減できる*

* 2019 IDC Whitepaper

G Suite for Education

ユーザー数 1 億 2,000 万人以上。
AI 搭載の無料ツールで協働学習を叶える。

手頃な価格

ICT 総合コスト (TCO) を
約 57 % 削減できる*

高い汎用性

その場でアイデアを共有、
対話を活性化する

高い効果

学力向上につながり、
未来スキルが身につく



Google Classroom

ユーザー数 1 億人以上。
課題やコミュニケーションの改善を図る。



Google for Education
公式サイト

**GIGA スクール対応、遠隔学習支援、Google for Education 導入に関する、
すべての疑問・不安・懸念、何でもお答えします！**

GIGA スクール推進事務局 / 遠隔学習支援事務局 / Google for Education 事務局
03-6384-9575 (平日 9:00 - 18:00) gfe-jp-isr@google.com
【公式サイト】<https://edu.google.co.jp>

○本冊子に掲載の画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合があります。○記載内容は 2020 年 6 月 15 日現在のものです。

当社が提供するすべてのコンテンツ(著作物、肖像、その他一切の情報)は、当社もしくは、その委託先等が著作権等の知的財産権、使用権、その他の権利を有しています。一部の機能、サービス、アプリケーションは、デバイスやネットワークによって仕様どおりの性能を発揮しない場合や、デバイスやネットワーク、あるいは地域によってご利用いただけない場合があります。追加の利用規約や料金が適用されることもあります。すべての機能とその他の製品 / サービス仕様は、予告なく変更される場合があります。

Google、Chrome OS、Chromebook、Google Play、Google アシスタント及び関連する名称並びにそれぞれのロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。その他のすべての商標や商号はそれぞれの所有者に帰属します。©2020 Google LLC All rights reserved.

